

韓国語の文末形式「ㄴ 것이다」の用法と
指導に関する研究

金 廷 珉

松 山 大 学
言語文化研究 第28巻第2号 (抜刷)
2009年3月

Matsuyama University
Studies in Language and Literature
Vol. 28 No. 2 March 2009

韓国語の文末形式「ㄴ 것이다」の用法と 指導に関する研究¹

金 廷 珉

1. はじめに

韓国語と日本語のようなSOV(主語, 目的語, 述語)の語順を持つ言語は, 述語(V)の位置において, 話し手の様々な心的態度を表す文末表現が発達している.

韓国語の文末表現の一つに, 書き言葉だけでなく, 話し言葉においても出現頻度が高い「것이다」という形式が存在する. 「것이다」は用言(動詞, 形容詞)の連体形²に後接し, 連体形の時制(未来・現在・過去)によって意味と用法が分化されるという特徴がある. 例えば, 用言の未来連体形に後続する「ㄴ 것이다」は, 話者の「意志」, または, 第三者に対する「推量」を表す(野間 1990, 안주호 1997, 정희정 2000, 이기종 2001, 남기심・고영근 2002 など). また, 用言の過去・現在連体形が前接する「ㄴ 것이다」の場合は, 「断定」「強調」などの意味を表すと指摘されている(장경희 1985, 高永根 1986, 신선경 1993 など).

しかし, 韓国語学における「것이다」に関するこれまでの先行研究では主に, 前者, つまり, 未来連体形を伴う「ㄴ 것이다」に関しては多くの注目が集められてきた. 特に, 「ㄴ 것이다」は蓋然性の接尾辞の「ㄴ」との異同をめぐって活発な議論がなされ, これまで多くの研究者によって様々な角度から研究がなされてきた(서정수 1978, 李南淳 1981, 김규철 1988, 野間 1990, 노마 2002 など).

1 本稿は松山大学2008年度特別研究助成金の支援によって書かれたものである.

2 韓国語学においては, 「冠形詞形」と呼ばれるが, 本稿では便宜上「連体形」と称する.

一方、本研究で注目する「ㄴ 것이다」については、近年、日本国内における日韓対照研究分野において、日本語の「のだ」文との対照の観点から両形式について論じた研究はいくつか見られる(李 2001, 印 2003, 金 2007などを参照)。ところが、韓国語のみを対象とした研究では談話における「ㄴ 것이다」の用法については十分な研究がなされてきたとは言いがたい。また、韓国語教育分野の立場から「ㄴ 것이다」を取り上げている研究はほとんど見られず、日本国内において市販されている韓国語の教材を調べてみると、「ㄹ 것이다」は初級レベルの後半から中級レベルにかけての学習項目として導入されている³ものの、「ㄴ 것이다」は上級レベルの学習者向けの教材⁴でさえも学習項目として取り上げられていないのが現状である。しかし、「ㄴ 것이다」は韓国の新聞、小説などの書き言葉のみならず、テレビ談話、ドラマなどの口語表現においても生産的に使用される表現であり(金 印刷中)、実際、第二言語として韓国語を習得している韓国語学習者向けのハングル能力検定試験の問題において出題されている⁵現状をふまえると、「ㄴ 것이다」の用法を体系的に考察する必要がある。

そこで本研究では、現在・過去連体形を伴う韓国語の文末表現「ㄴ 것이다」⁶を取り上げ、談話における「ㄴ 것이다」の用法について、実例に基づいて詳しく考察することを目的とする。具体的には、韓国ドラマのシナリオデータを用いて、談話に見られる「ㄴ 것이다」の様々な用法を明らかにすることを目的とする。そして、韓国語学習者を対象とした韓国語教育現場における「ㄴ 것이다」の指導について教育的示唆を行う。

本稿の構成は以下の通りである。2節では韓国語の文末形式「ㄴ 것이다」の形態・

3 『新チャレンジ韓国語』、『もっとチャレンジ!韓国語』2冊とも金順玉・阪堂千津子(著)白水社、『楽しくできる韓国語初級Ⅱ』李志瑛・金鎮姫(著)DEKIRU出版など。

4 『句型中心CD付きテキスト韓国語上級』李昌圭(著)白帝社など。

5 ハングル能力検定試験1級問題(2008年度秋季第31回)、準2級の問題(2006年度秋季第27回)に「ㄴ 것이다」を含む例文と問題が出題されている。

6 用言の連体形の時制によって「ㄴ 것이다」「ㄹ 것이다」と区別して表記し、連体形の時制に関係なく総称して述べる際には「ㄴ 것이다」と表記する。なお、3節以後は本研究の研究対象である「ㄴ 것이다」は「KES-ITA」と表記する。これについては後述する。

統語的特徴について簡単に述べる。3節では、本研究で注目している「ㄴ 것이다」に関して論じた先行研究に触れる。4節では、本研究の研究手法、分析対象を明示し、5節では、「ㄴ 것이다」の用法の分析結果を例文とともに示す。6節では、韓国語学習者を対象とした「ㄴ 것이다」の指導に関して提言を行う。最後に、本研究のまとめと今後の展望について述べる。

2. 「것이다」の形態・統語的特徴

本節では、韓国語の「것이다」の形態・統語的特徴について簡単に説明し、本研究で分析対象とする形式を明示する。

「것이다」は形式名詞「것 (kes)」⁷に、コンピュータ⁸「(이) 다 ((i) ta)」が結合した文末形式である。また、韓国語の「것이다 (kes-ita)」は様々な時制の用言の連体形が前接する。これを分かりやすくまとめると表1のようになる。

7 韓国語学では「依存名詞」とも呼ばれるが、本稿では日本語との対比を言及する場合があるため、「形式名詞」とする。「것」は日本語の「もの」「の」「こと」のような形式名詞に相当するが、日本語のように、「もの」と「こと」の意味的区別はない。つまり、韓国語の「것」は具体的な「物 (thing)」と抽象的な「こと」の両方の意味を持つ。また、日本語の「もの」の場合は、「ものがおいてある。」「ものが悪い。」のように「もの」の前に必ずしも「動詞の連体形」が接続しなければいけない、という制約は無い。一方、韓国語の「것 (kes)」は日本語の「のが、*のが見える。」「*のがある。」のように、「の」単独では用いられないことと同様に、「*것이 보인다 (Kes-i poi-nta./ のが見える。)」「*것이 있다 (Kes-i iss-ta./ のがある。)」のように、「것 (kes)」単独で用いられることはなく、必ず「用言の連体形」が前接する。また、以下、本稿で用いる韓国語の表記はyale式表記を用い、韓国語の例文の提示の際には「韓国語-yale式表記-グロス-日本語訳」の順に示し、日韓両言語が対応している部分は下線(____)で示す。また、韓国語の論文の引用及び例文の日本語訳は筆者による。

8 日本語学では「判定詞」、韓国語学においては「繫辞」または「指定詞」とも呼ばれているが、本研究では便宜上「コンピュータ」と用語を統一する。

表1 「것이다」に前接する用言の連体形

時制	用言の連体形 + 「것이다」
現在	-는 것이다 (-nun kes-ita)
過去	-ㄴ 것이다 (-n kes-ita)
過去回想	-던 것이다 (-ten kes-ita)
過去経験	-었던 것이다 (-ss-ten kes-ita)
未来	-ㄹ 것이다 (-l kes-ita)

表中の太枠で表示した部分が本稿の研究対象である

また, 例 (1i)~(v) に示されるとおり, 「것이다」の前には「-는/-ㄴ/-던/-ㄹ/-ㄷ/-ㄹ (-nun /-n/- ten /-ss ten/ -l· 現在/ 過去/ 過去回想/ 過去経験/ 未来連体形)」などの様々な時制の連体形を伴うことができる.

- (1)
- | | | |
|------------------|---|---------------------------------|
| 학교에
Hakkyo-ey | <ul style="list-style-type: none"> (i) 가는 / ka-nun/ 行く - 現在連体形 (ii) 간 / ka-n / 行く - 過去連体形 (iii) 가던 / ka-ten/ 行く - 過去回想 (iv) 갔던 / ka-ss ten/ 行く - 過去経験 | <p>것이다.
<u>kes-ita.</u></p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> (v) 갈 / ka-l/ 行く - 未来連体形 | <p>▶ 「意志」「推量」</p> |

しかし, 1節で述べたように, 韓国語の「것이다」は「것이다」の前に現れる連体形の時制によって体现される意味が異なる. 例えば, 表1において未来連体形を伴う「ㄹ 것이다 (-l kes-ita)」は, 例 (1v), (2), (3) のように, 主体の人称の違いによって, 「意志」「意図」または「推測」「推量」などを表す形式として知られ, これまで多くの研究蓄積がある(詳細は서정수 1978, 李南淳 1981, 김규철 1988, 野間 1990, 안주호 1997, 이기중 2001, 남기심·고영근 2002などを参照されたい).

- (2) 나는 꼭 시험에 합격할 것이다.
 Na-nun kkok sihem-ey hapkyekha-l kes-ita.
 私-は 必ず 試験-に 合格する-未来連体形 kes-ita
 「私は必ず試験に合格する。」(話し手自身の意志)
- (3) 그는 반드시 올 것이다.
 Ku-nun pantusi o-l kes-ita.
 彼-は 必ず 来る-未来連体形 kes-ita
 「彼は必ず来るだろう/はずだ。」(第三者に対する推量)

そこで本研究は、これまであまり研究されてこなかった、(li)～(liv)に見られるような「ㄴ 것이다」形式を研究対象とし、これ以後、大文字の「KES-ITA」と表記⁹して議論を進めていく。次節では「KES-ITA」に関する先行研究について簡単に触れる。

3. 先行研究

韓国語学分野において「KES-ITA」について論じた研究として高永根(1986)、신선경(1993)、배선경(1998)、남기심·고영근(2002)などが挙げられる。例えば、高永根(1986)は「KES-ITA」が「強調」「主張の確実性」を表すと述べている。また、신선경(1993)は「形式名詞+(이) 다/ (i) ta)」という構造で分析される場合もあれば、(4)のように「KES-ITA」がひとまとまりの形式として用いられる場合があると指摘している。신선경(1993: 119-120)によれば、(4)において「我が国=今日で以って自主国家になった国」という意味にはなりにくく、「KES-ITA」が1つの単位として再構造化され、「断定」または「強調」などの意味として用いられる場合があるとしている。

9 必要に応じて「거야」「거예요」など特定の変異形の形式を言及する際にはローマ字の小文字を用いる。

- (4) 우리 나라는 오늘로서 자주국가가 된 것이다.
 Wuli nala-nun onul-lose cacwukwukka-ka toy-n kes-ita.
 我々 国-は 今日-で 自主国家-が なる-過去連体形 KES-ITA
 「我が国は今日で以って自主国家になったのだ。」

(신선경 1993 : 119, 下線は筆者による)

しかし、韓国語のみを扱った「KES-ITA」に関するこれまでの研究は研究者自身の内省や作例によるものが多く、実際の談話資料において「KES-ITA」がどのような意味、用法を実現しているかについての実証的研究はまだ十分であるとは言い難い。

次に、日韓対照研究分野においては、日本語の文末形式「のだ」に対応する形式として韓国語の「KES-TIA」を取り上げ、日本語の「のだ」との類似点、相違点の解明を目指した研究はいくつか見られる(李 2001, 印 2003, 金 2007)。これらの研究では両形式が部分的に対応していることが明らかになっている。しかし、これらに用いられている資料がほとんど小説という限られたジャンルのデータのみであるため、小説以外のほかの談話資料において「KES-ITA」がいかなる特徴を持っているのかについても考察する必要があると考えられる。そこで、本研究では韓国ドラマのシナリオデータを用いて、先行文と後続文との関係に注目して、談話における「KES-ITA」の用法の明確化を行う。

4. 調査方法

韓国語の「KES-ITA」の用法を調べるために、韓国ドラマのシナリオデータを収集した。具体的には、平叙文の文末¹⁰に現れる「KES-ITA」及びその変異形を抽出した。本研究で調査対象とした「KES-ITA」及びその変異形の詳細は表2

10 今回は、疑問文、推量文などは対象外としたが、今後はこれら除外した形式についても考察していかなければならない。

に示すとおり、「KES-ITA」の変異形を大きく「KES」系と「KE」系に二分した。

表2 「KES-ITA」の変異形¹¹

形式 時制	「KES」系		「KE」系	
	非過去形	過去形	非過去形	過去形
丁寧形 基本形 = 下称 (plain)	것이다 (kes-ita)	것이었다 (kes-i-ess-ta)	저다 (ke-ta)	저였다 (ke-yess-ta)
半言体 (intimate)	것이야 (kes-i-ya)	것이었어 (kes-i-ess-e)	저야 (ke-ya)	저였어 (ke-yess-e)
略待上称 (polite)	것이예요 (kes-i-eyyo)	것이었어요 (kes-i-ess-eyo)	저예요 (ke-yeyyo)	저였어요 (ke-yess-eyo)
上称 (deferential)	것입니다 (kes-ipnita)	것이었습니다 (kes-i-ess-supnita)	겁니다 (ke-pnita)	거였습니다 (ke-yess-supnita)

また、これらの形式に「-지(ci), -네(ney), -군(kwun)」といった終結語尾が結合した用例も分析対象の範囲とした。その上で、先行文(脈)と後続文(脈)との連文関係に注目して、「KES-ITA」の用法を考察した。

本研究に用いた用例の出典¹²の詳細及び略号を以下に示す。

韓国民営放送局 < www.sbs.co.kr > よりドラマ台詞をダウンロード

- ・「파리의 연인(パリの恋人)」(2004) 1, 3, 4 話 →【パリ】
- ・「마이걸(マイガール)」(2006) 3 話 →【マイ】
- ・「루루공주(ルル姫)」(2005) 17 話 →【ルル】
- ・「아름다운 날들(美しき日々)」(2001) 1, 2 話 →【日々】

11 「KES-ITA」の変異形として「KES」「KE」系以外にも、「게야(key-ya)」「게다(key-ta)」という形式も挙げられるが、今回の調査では用例が見つからなかったため、今回は扱わないことにする。これについては丁(2007)を参照されたい。

12 本研究で引用する韓国語のドラマの台詞の日本語訳については、対訳集が刊行されているドラマについては、それを参照した。それ以外のドラマについては、基本的に筆者が直訳をし、全体の訳は日本語母語話者によりチェック済みである。

：日本語訳は『美しき日々』で始める韓国語シナリオ対訳集（2004）、キネマ旬報社も参照した。

韓国民営放送局〈www.imbc.com〉よりドラマ台詞をダウンロード

- ・「내 이름은 김삼순(私の名前はキム・サムスン)」(2005) 1話 →【サムスン】
- ・「다모(茶母)」(2003) 1, 2, 3話 →【茶】

：日本語訳は『チェオクの剣シナリオ・ブック』(2005)、キネマ旬報社も参照した。

数多くの韓国ドラマの中で上記のドラマを選定した理由は、どれも日本国内において放映された馴染みのあるものであり、一部のドラマに関してはシナリオ対訳集が公式的に発行されているためである。また、日本語と韓国語の対応関係の調査など、今後日韓対照研究を遂行していく上で必要な日韓両言語のパラレルコーパス構築のための基礎資料として有用であると考えたためである。

5. 用例分析

本節ではドラマのデータを分析した結果に基づいて、「KES-ITA」の用法を、(I)「KES」+「ITA」で分離可能な場合と、(II) 分離不可能な場合に分類して、用例と共に考察を行う。

5.1 「KES」+「ITA」として分離可能な場合

まず、「KES-ITA」が「KES」+「ITA」に分離できる場合がある。この場合は「KES-ITA」が単独の文末形式として高度に文法化しておらず(宋 2000, Kim and Horie 2009)、「KES」の本来の持つ、「もの」「こと」としての語彙的意味を保持している例が多く見られる。(5)、(6)、(7)の「KES」は日本語訳からも分かるように、「KES」の代わりに文脈に相応する別の名詞(茶葉、絵など)に置き

換えが可能であり, または, 日本語の形式名詞「もの」などに対応する.

(5) <お茶を飲む場面; A: 초·세우크, B: চেও크>

A: 차맛이 깊구나...

Chamas-i kiph-kwuna...

茶の味-が 深い-終結語尾

B: 난희 아가씨께서 내주신 겁니다. 【茶】

Nanhuy akassi-kkeyse naycwusi-n ke-pnita.

人名 お嬢さん-が:尊敬 出される-過去連体形 KES-ITA:丁寧

A: 차잎도 중요하지만 차맛을 우리는 다모의 손끝이 더 중요하지... (略)

종사관도 들어보게.

Chaiph-to cwungyooha-ciman chamas-ul wuli-nun

お茶葉-も 重要だ-が 茶の味-を 引き出せる-現在連体形

tamo-uy sonkkuth-i te cwungyooha-ci... Congsakwan-to

茶母-の 手先-が もっと 重要だ-終結語尾 従事官-も

tulepo-key.

飲んでみる-勧誘

「A: 茶の味に深みがある.

B: ナニお嬢様がくださった茶葉です.

A: お茶葉も大事だが, 茶の味を引き出せるかどうかは茶母の腕次第だ. 従事官もお飲みなさい.」

(6) <レストランでお客様にアイスクリームを渡しながら>

삼순: 이 아이스크림 이름은 '마르키즈 글라세' 로 프랑스의 왕 루이 15세의 애첩인
풍파두르의 작위 이름에서 따온 겁니다. 【サムスン】

I aisukhulim ilum-un malukhicu kullasey-lo phulangsu-uy

この アイスクリーム 名前-は 固有名詞-で フランス-の

wang lwui 15-sey-uy aychep-in phngphatwulu-uy cakwi ilum-eyse
 王 ルイ -世-の 愛妾-である 人名-の 爵位 名前-から
 ttao-n ke-pnita.

とってくる-過去連体形 もの-です

「このアイスクリームの名前は‘マルキーズグラスセ’で、フランスの王、ルイ15世の愛妾であるポンパドゥール爵位の名前から由来したものです.」

(7) <誕生日のプレゼントを開けてみる場面；A: セナ, B: ヨンス>

A: 이게 뭐야?

Ikey mweya?

これ 何

B: 언니가 그린 거야. 이걸 언니하구 세나구... 이 천사들은 (略) 우릴 지켜줄

천사들인데...

Enni-ka kuli-n ke-ya. Ike-n enni-hakwu seyna-kwu.

姉-が 描く-過去連体形 もの-だ これ-は 姉-と 人名-で

I hensatul-un wuli-l cikhyecwu-l

この 天使-たち-は 私たち-を まもってくれる-未来連体形

chensatuli-ntey

天使-たち-だ-連結語尾

A: 나 이딴 선물 싫어! 【日々】

Na ittan senmwul silhe!

私 こんな プレゼント 嫌だ

「A: これ何?

B: お姉ちゃんが描いたの/絵よ. これはおねえちゃんとセナで...この天使たちが(略)私たちを見守ってくれる天使たちで...

A: 私, こんなプレゼント, 嫌!」

5.2 「KES-ITA」が分離不可能な場合

次に、「KES-ITA」がひとまとまりの文末形式として用いられる場合について考察する。この場合はさらに文脈によって以下のように4つに分けられる。¹³

5.2.1 先行文の内容を「具体化」する用法

「KES-ITA」は話し手が聞き手に、先行文(脈)の内容がどういうことを意味するのかについて、後続文で具体的に述べる際に用いられる。

(8) <結婚相談所にて；A: マネージャー, B: サムスン>

A: 저희가 잠깐 상의를 해 봤는데 김삼순 씨는 특별관리회원 으로 등록하시는 게 좋을 것 같습니다.

Cehuy-ka camkkan sanguy-lul haypwass-nuntey

私ども-が ちょっと 相談-を してみた-連結語尾

Kimsamswun-ssi-nun thukpyelkwanli hoywen-ulo

人名-氏-は 特別管理 会員-として

tunglokhasi-nun key coh-ul kes kath-supnita.

登録される-現在連体形 方が いい-推測-丁寧

B: 그게 뭔데요?

Kukey mwenteyyo?

それって なんです

A: 성사될 때까지 무한공급을 받는 겁니다. 남자를 밀도 끝도 없이!

Sengsatoy-l ttay kkaci mwuhan kongkup-ul

成婚される-未来連体形 時 まで 無限 供給-を

pat-nun ke-pnita. Namca-lul mith-to kkuth-to epsil

うける-現在連体形 KES-ITA: 丁寧 男子-を 底-も 果てし-もなく

13 今回の調査に基いた分類で、「KES-ITA」の用法をすべて網羅したわけではない。今後さらにデータを増やしていき、より精密な調査をしていく予定である。

B: 근데(略) 밑도 끝도 없이 비싸지 않을까요?

Kuntey mith-to kkuth-to epsi pissa-ci anh-ulkka-yo?

ところで 底も 果てし-も なく 高い-否定-推測-丁寧

A: 물론 그렇죠. 하지만 평생을 좌우하는 결혼인데 그 정도 투자는 하셔야죠. 【サムスン】

Mwullon kulehcyo Haciman phyengsayng-ul cwawuha-nun

もちろん そうです しかし 一生-を 左右する-現在連体形

kyelhon-i-ntey ku cengto thwuca-nun hasyeyacyo.

結婚-だ-連結語尾 それぐらい 投資-は なさらないと

「A: 私どもでちょっと相談をしてみたんですが, キム・サムスン氏は 特別管理
理会員 として登録された方がいいかと思います.

B: それ ってなんですか?

A: 成婚されるまで, 無限供給を受けるのです. 男子を限りなく!

B: ところで, (略) 限りなく高いのではないのでしょうか?

A: もちろん, そうですとも. しかし, 一生を左右する結婚ですから, それぐ
らいの投資はなさらないとね.]」

(8) は, 結婚相談所を訪れた主人公「サムスン」と結婚マネージャーとの会話である. 結婚マネージャーから, 「特別管理会員」として登録されることを薦められた「サムスン」は, その意味についてマネージャーに問いかけている. そこで, 説明する対象(内容) = 「特別管理会員」が先行文に明示され(□□で表示), それが具体的にどういう意味であるのか(波線(~~~~))で表示)を後続文で述べる際に「KES-ITA」で結び付けられている.

5.2.2 「事情・実情」を説明する用法

次に, 「KES-ITA」は聞き手(相手)が承知, 納得していない状況(先行文脈)に対して, 話し手が聞き手に, その事情を説明する際に「KES-ITA」が用いられる.

(9) < A: コニ(子役), B: テヨン, C: 差し押さえ人 >

A: 내놔요. 내놔요. 내놔~~~

Naynwa-yo Naynwa-yo Naynwa~~~

返して-丁寧 返して-丁寧 返せ

B: (略) 뭐 하는 거예요? 이걸 왜 가져가는 거예요?

Mwe ha-nun ke-yeyyo? Ike-l way

何 する-現在連体形 KES-ITA:丁寧 これ-を どうして

kacyeka-nun ke-yeyyo?

もって行く-現在連体形 KES-ITA:丁寧

C: 강필보 씨 아시죠. 강필보 씨가 밀린 할부금 대신 가져가는 거예요. 【パリ】

Kangphilpo-ssi asi-cyo Kangphilpo-ssi-ka mili-n

人名-氏 ご存知-終結語尾 人名-氏が 滞納する-過去連体形

halpwukum taysin kacyeka-nun ke-yeyyo.

割賦金 代わりに もって行く-現在連体形 KES-ITA:丁寧

「A: 返してよ, 返してよ. 返して.

B: 何してるんですか? どうしてこれを持っていくのですか?

C: 칸·필보さんご存知でしょ? 칸·필보さんの滞納した割賦金の代わりに持って行くのです.」

(9) は, 差し押さえ人たちが突然 A と B の家に訪れ, B が大事にしていた B の父のカメラを勝手に持っていく場面である. その姿を目撃した B がその理由を聞いている. そこで, 差し押さえ人たちが B の兄(칸·필보)が割賦金を返済できず, 滞納しているため, その割賦金のかわりに, カメラをもっていくのである, という事情を説明する際に, 「KES-ITA」が用いられている.

また, このような「事情・実情」を説明する用法の場合は, (10), (11), (12) のように聞き手(相手)の想定, 行動, 発話などを否定, 訂正¹⁴, 後続文で肯定の内容を聞き手に提示する際に, 「KES-ITA」が生起する用例が多く見られ

る。

(10) は、パーティのパートナーとして1日付き合わされ、同席したAとBがパーティの参加者の前で踊っている場面である。(11) は、AとBの二人が屋台にトッポキ(韓国料理の一つで、餅を使った炒め物)を食べに行き、会話を交わしている場面である。また、(12) は海外に滞在していたが、Aが韓国に帰国し、久しぶりにBと再会して話をしている場面である。(10) においてはAが冗談を言っていると思っているBに対して、Aが、「(私は)冗談を言っているのではなく、(今まじめに)踊っているんだ」ということを、(11) においては、Aのトッポキの食べ方(行動)に対して、Bがさらにおいしく食べるトッポキの食べ方は、「こういうふうに(トッポキの餅を)ヤンニョムにたっぷりつけて食べるんだよ」ということを説明している。また(12) においては、やせたと思うBに対して、「やせたのではなく(歳をとって)赤ちゃん肉が落ちて、ちょっとしまっただけ」ということを説明している。

(10) <パーティで踊りながら; A: キジュ, B: テヨン>

A: 제법인데?

Ceypep-intey?

なかなか-連結語尾

B: 이 정도 쫌이야 뭐 무용시간에 배웠쑤.

I cengto ccumiya mwe mwuyongsikan-ey paywe-ss-ccyo.

この 程度 くらい 感嘆詞 舞踊時間-に 習う-過去-終結語尾

14 この点に関しては日本語の「のだ」文を分析している益岡(2007: 86-88)を参照した。また、野田(1997)では「のだ」をスコープの「のだ」とムードの「のだ」に2分しており、野田(1997)の主張に従うと、韓国語の(10)、(11)、(12)の例文はスコープの機能に該当する。しかし、本研究では、益岡(2007)と同様に、日本語の「のだ」を両者に峻別する立場をとらない。

A: 숨서. 춤추다 쓰러지면 아주 곤란해.

Swumsye. Chwumchwuta ssuleci-myen acwu konlanhay.

呼吸して 踊ってて 倒れる-仮定 とても 困る

B: 어? 장난치지 말아요.

E? Cangnanchi-ci mal-ayo.

え いたずらする-禁止-丁寧

A: 이게 왜 장난치는 거야. 춤추는 거지. 뒤에서 보고 있잖아. 【パリ】

Ikey way cangnanchi-nun ke-ya. Cwumcwu-nun

これが なぜ いたずらする-現在連体形 kes-ita 踊る-現在連体形

ke-ci. Twi-eyse po-ko iss-cahna.

kes-終結語尾 後ろ-から 見る-ている-じゃない

「A: なかなかじゃない？」

B: この程度なら、踊りの時間に習いました.

A: 深呼吸して. 踊ってて, 倒れると非常に困る.

B: もう, 冗談言わないでよ.

A: 冗談言ってるのではないよ. 踊っているのよ. ほら, 後ろから(人々が)見ているじゃない.」

(11) <屋台でトッポキを食べる場面; A: チャノ, B: ヒス>

A: 뭐야 맛있는 거 사달라더니.

Mweya masiss-nun ke satalla-teni.

何 うまい-現在連体形 もの おごって-終結語尾

B: 떡볶이 맛있잖아.

Ttekpokki masiss-canha.

トッポキ 美味しい-じゃない

A: 야 고희수 잘 먹네.

Ya Kohuyswu cal mek-ney.

いや 人名 よく 食べる-終結語尾

B: 그렇게 먹는거 아니야. 떡볶이는 이렇게 양념에 푹 찌어서 이렇게 먹는 거야. 【ルル】

Kulehkey mek-nun ke aniya. Ttekpokki-nun

そのように 食べる-現在連体形 の 否定 톱포키-は

ilehkey yangnyem-ey phwuk ccikese ilehkey

このように ヤンニョム-に たっぷ리 つけて このように

mek-nun ke-ya.

食べる-現在連体形 KES-ITA

「A: 何, うまいもんおごつてと言っておいて.

B: 톱포키, 美味しいじゃない.

A: いや-, 코·히스, よく食べるね.

B: そういうふう食べるのではないよ. 톱포키는このように, ヤンニョムに たっぷ리つけて, こういう風に食べる의.」

(12) <久しぶりに再会した二人の会話; A: 키へ, B: 키ジュ>

A: 비행기 편이 바졌으면 연락하지 그랬어. (略) 근데 얼굴이 좀 마른거 같다.

Pihayngki phyen-i pakkyess-umyen yenlakha-ci

飛行機 便-が 変わった-なら 連絡する-終結語尾

kulay-ss-e. Kuntey elkwul-i com

そうだ-過去-終結語尾 ところが 顔-が 少し

malun-ke kath-ta.

やせる-ようだ-終結語尾

B: 아냐. 아냐. 젓살 빠진 거야. 걱정하지 말고(略). 【パリ】

Anya. Anya. Cecsalsal ppaci-n ke-ya.

違う 違う 赤ちゃん肉 落ちる-現在連体形 KES-ITA

Kekcengha-ci malko.

心配する-禁止

「A: 飛行機の便が変わったなら連絡くれるといいのに。(略)しかし、ちょっとやせたみたいね.

B: 違うよ。(赤ちゃん肉が落ちて)ちょっと締まったのよ/だけ. 心配しないで(略)」

5.2.3 話し手の「決意」を表す用法

今回の調査では、(13)～(18)のように、話し手の「決意」を表す際に「KES-ITA」が用いられる例が多く見られた。より詳細に観察してみると、(13)～(16)はそれぞれ、話し手の独り言、心内発話であるのに対して、(17)、(18)は心内発話ではなく、聞き手に向けての発話である。しかし、いずれも、以前から決められていた話し手の「決意」を表すのではなく、話し手が発話の場において即座に決めた「決意」を表すという点で共通する。また、発話時以前に起こった出来事を表すのではなく、話し手がこれから行う(行いたい)事柄を表すため、現在の連体形のみが共起可能である。そのため、(13)～(18)をそれぞれ過去連体形を用いて以下のように置き換えることはできない。

(13') …꿨은 거야/…만난 거야

(14') …해 본 거야

(15') …밀어 붙인 거야

(16') …한번 해 본 거야

(17') …오픈한 거야

(18') …만난 거야/ … 논 거야

また、この用法は、話し手の自分自身への「念押し」「言い聞かせ」のようなニュアンスが感じられ、「よし!」などの掛け声と共起する例が多く見られるの

が特徴である.

(13) <コーヒーショップで注文する前に独り言>

삼순 : 좋아, 결심했어! 일단 라떼부터 끊는 거야! (略) 올드보이한테 집착하지 말고 살
을 짝 빼서 뉴페이스를 만나는 거야. 【サムスン】

Coha, kyelsimhaysse! Iltan lattey-pwuthe kkunh-nun

よし 決心した 一旦 ラテ-から やめる-現在連体形

ke-ya! Oltu poi-hanthey cipchakha-ci malko sal-ul ppayse

KES-ITA オールドボーイ-に 執着する-禁止 肉-を 落として

nyupheyisu-lul manna-nun ke-ya.

ニューフェイス-を 会う-現在連体形 KES-ITA

「よーし, 決めた! まず, ラテからやめるのだ! (略) 元彼に執着せず, やせて, ニューフェイスに会うのだ.」

(14) <お見合いに行く前に, ホテルのトイレでお腹をたたきながら独り言で>
좋아쓰! 오늘 한번 해 보는 거야! 잘 생겨서 참아준다. (略) 근데 왜 하필이면 이 호텔이
냐, 불길하게. 【サムスン】

Cohassu! Onul hanpen hay po-nun ke-ya!

よーっし 今日 一度 やってみる-現在連体形 KES-ITA

Cal sayngkye-se chama cwu-nta. Kuntey way

カッコいい-から 我慢してやる-終結語尾 ところで どうして

haphilimyen i hotheyl-inya, pwulkillhakey.

よりによって この ホテル-か 不吉なことに

「(お腹をたたきながら)よーっし! 今日一度やってみるのだ!カッコいいから我慢してやる. しかし, (略) どうして, よりによってこのホテルなの? 不吉だな.」

(15) < A: お見合いの相手男子, B: サムスン >

A: 그래서 다 먹어봤나요?

Kulyase ta mekepwassnayo?

それで 全部 食べてみましたか

B: 아뇨. 아쉽게도 딱 하나를 못 먹었지 뭐예요.

Anyo Aswipkeyto ttak hana-lul mos mekess-ci

いいえ 残念なことに ちょうど 1つ-を 否定 食べた-終結語尾

mweyeyyo.

感嘆詞

A: 하나요? 뭔데요?

Hana-yo Mwentey-yo?

一つ-丁寧 何-丁寧

B: 기둥이요.

Kitwung-i-yo.

柱-だ-丁寧

A: 하하.

Haha.

ハハ

B: (心の中で) 좋았어. 결혼식 그 날까지 논스톱으로 밀어붙이는 거야. 김희진, 넌 할 수 있어! 아자아자아자! 【サムスン】

Cohasse. Kyelhonsik ku nal-kkaci nonsuthop-ulo milepwuthi-nun

よし 結婚式 その日-まで ノンストップ-でいく-現在連体形

ke-ya.

KES-ITA

Kim huycin, ne-n hal swu isse! Aca aca acal

人名 お前-は できる よし よし よし

「A: 그래서全部食べてみましたか.

B: いいえ, 残念なことに, ちょうど1つを食べられなかったんです.

A: 1つですか? 为什么呢?

B: 柱です.

A: ハハハ.

B: よーし! 結婚式のその日までノンストップで行くのだ! キム・ヒジン,
あんたはできる! よし, よし, いくぞ!」

(16) < A: コンチャン, B: ユリン >

A: 당신이 꼭 필요해. 부탁이야. 다시 생각해 주면 안 되겠어?

Tangsin-i kkok philyohay. Pwuthak-ya. Tasi
あなた-が 絶対 必要だ お願ひ-だ 再度
sayngkakhay cwu-myen an toy-keyss-e?

考えるてくれる-と 否定 なる-蓋然性接尾辞-終結語尾

B: 생각은 해 볼게요. (略)

Sayngkak-un hay po-l kkey-yo
考え-は してみる-意志-丁寧

B:(独り言) 생각하면 모하냐구. 그런 뺑을 어떻게 처. (略) 잘 생각해, 잘 생각해, 잘생
각해. 내 돈! 그래 내가 잃을 게 뭐 있어? 한번 해 보는 거야. 【マイ】

Sayngkakra-meyn mohanay-kwu Kulen ppeng-ul ettekey chye.
考える-と 何する-と そんな ウソ-を どうして つく
Cal sayngkakhay, Cal sayngkakhay, Cal sayngkakhay.
よく 考えろ よく 考えろ よく 考えろ

Nay ton! Kulay nay-ka ilh-ul key mwe isse?
私の お金 そう 私-が 失う-未来連体形 もの:が なに ある
Hanpen hay po-nun ke-ya.

一度 やってみる-現在連体形 KES-ITA

「A: 君が必要なんだ. 頼む. 考え直してくれ.

B: 考えてはみるわ.

B: 考えたってどうする. そんなウソつけないわ. (略)よく考えろ, よく考えろ, よく考えるのよ. 私のお金, そう, 私が失うものなんてないわ. 一度やってみるのよ.」

(17) <優勝をお祝いする場面; A: コンチャン, B: セヨン>

A: 특별히 준비한 우승 트로피야. 전국대회 우승 축하해.

Thukpyelhi cwunpiha-n wusung thulophi-ya.
 特別に 準備する-過去連体形 優勝 トロフィー-だ
 Cenkwuk tayhoy wusung chwukhahay.
 全国大会 優勝 おめでとう

B: 로마네 콩트 79년산이네. 대단하다.

Lomaney khongthu 79-nyen san-i-ney Taytanha-ta.
 品名 -年-産-だ-終結語尾 すごい-終結語尾

A: 잠깐만 나 오늘 마시고 싶지 않아.

Camkkanman Na onul masiko sip-ci anh-a.
 ちょっとまって 私 今日 飲みたい-否定-終結語尾

B: 왜?

Way?
 どうして

A: 국제 대회 진짜 내 꿈 이뤘을 때 그 때 여기서 다시 축하해 줘. 이 와인은 그날 오픈하는 거야. 【마이】

Kwukcey tayhoy cincca nay kkwum ilwess ul ttay yekise tasi
 国際大会 本当に 私の 夢 叶った とき ここで 再度
 chwukhahay cwe. I wain-un ku nal ophunha-nun
 お祝いして くれ この ワイン-は その日 オープンする-現在連体形

ke-ya.

KES-ITA

「A: 特別に準備した優勝トロフィーよ. 全国大会優勝おめでとう.

B: ロマネコンティ 79年産だね. すごい.

A: ちょっと待って. 今日は飲みたくないわ.

B: どうして?

A: 国際大会, 本当に私の夢が叶ったときに, ここでまたお祝いして. このワインは その時にオープンするの.」

(18) <ヨンスがセナに向けての会話>

연수: 그래 생일날 만나자! 보고 싶어도 꼭 참고 있다가 크리스마스에 만나는 거야! 어

때?(略) 생일날 아주 멋진 데서(略) 맛있는 것도 먹구 재밌게 노는 거야. 【日々】

Kulay sayngilnal mannaca pokosipheto kkwuk chamko iss-taka

そう 誕生日の日 会おう 会いたくてもぐっと 我慢している-連結語尾

khulisumasu-ey manna-nun ke-ya! Ettay?

クリスマス-に 会う-現在連体形 KES-ITA どう

Sayngilnal acwu mescin tey-se masissnun kes-twu mekkwu

誕生日の日 とても 素敵な ところ-で おいしい もの-も 食べて

caymisskey no-nun ke-ya.

楽しく 遊ぶ-現在連体形 KES-ITA

「そう, 誕生日の日に会おう. 会いたくてもぐっと我慢してて, クリスマスに会うのよ! どう? 誕生日の日, とても素敵なお店で, おいしい物も食べて, 楽しく遊ぶのよ.」

以上, 本節では韓国のドラマに現れる「KES-ITA」の用法について分析を行った. 次節では以上の分析結果を踏まえて, 韓国語学習者を対象とした韓国語教育の現場における「KES-ITA」の指導について教育的提言を行う.

6. 韓国語教育への示唆

これまでの考察を通して、本節では韓国語学習者に「KES-ITA」をどのように教授したらいいかについて提案を述べる。これまで韓国語学分野における文末表現「것이다」に関する先行研究では未来連体形を伴い、「意志」または、「推測」を表す「ㄴ 것이다 (1 kes-ita)」の方に研究が集中されてきた傾向があり、本研究で扱った「KES-ITA」についてはあまり体系的な研究がなされてこなかった。そのため、第2言語として韓国語を習得する外国人韓国語学習者のための教育の視点を取り入れた、「KES-ITA」の研究も生産的に行われてきたわけではない。

例えば、外国人のための文法書である국립국어원(国立国語院)『외국인을 위한 한국어 문법 2(外国人のための韓国語文法2), p.726-727』によると、以下に引用されるように、「KES-ITA」を「…ある事実, 事物に対し人の考えを客観化して強調して言うときに使われる…」と定義している。

④ 이 책은 분명 나의 아버지가 쓴 것이다

… ④ 는 이것이 말하는 사람의 아버지가 쓴 책임을 강조하여 말하고 있다. 이 경우의「-은 것이다」구성은 어떤 사실이나 사물에 대한 말하는 사람의 생각을 객관화하여 강조할 때 쓰인다. 즉 ‘이 책은 분명 나의 아버지가 썼다.’보다 ④ 가 좀 더 객관화하여 강조한 표현이다 (ibid: 726-727; 下線は筆者による).

また、3節で触れたように、韓国語のみを扱った先行研究では上記の説明と同様に、「KES-ITA」は「断定」、または「強調」の意味を表すとの見解が多い(高永根 1986, 신선경 1993, 배선경 1998, 남기심·고영근 2002).

しかし、教室内で上記のように、「KES-ITA」=「強調」、というような説明

を与えてしまうと、学習者は、自分の気持ち(例えば、感謝、恩恵の気持ちなど)を相手に「強調」のつもりで多用する可能性が高く、その結果、使うべきではないところに、過剰生成をしてしまうおそれがある。

また、本研究で取り上げた「KES-ITA」はハングル能力試験の問題においても準2級、1級など、(最)上級レベルの段階で出現する文法表現であるが、現在日本国内で市販されている学習者向けの教材、文法書、受験対策の問題集¹⁵などには「KES-ITA」に関する詳しい説明は与えられていない。しかし、本研究で考察してきたように、「KES-ITA」は文脈依存性の高い多義的な形式であるため、これから益々増えていくと考えられる韓国語学習者の韓国語能力の量的、質的向上といった点を考慮すると、「KES-ITA」の用法に関する適切な記述及び体系的な指導は不可欠である。

そこで、本研究では、5節で得られた結果を踏まえて、まず、「KES-ITA」が形式名詞「KES」本来の語彙的な意味を維持して、「KES」+「ITA」として分離可能な場合と、高度に文法化し、ひとまとまりの文末形式として分離不可能な場合に分けて導入していく必要があると考える。前者の場合については、文脈に応じて具体的な名詞に置き換えが可能であること、また、日本語の「もの」「の」のような形式名詞と対比させながら取り入れていくことを提案する。

次に、後者の場合については、学習者の過剰生成を防ぐために先行研究で言われているような、「KES-ITA」は「強調」「断定」を表すというような説明を避けて、まず学習者に「KES-ITA」が文脈によって多義であることを周知させることが大事であると考え。つまり、学習者に「KES-ITA」が生じた一文のみを提示しても、学習者にはその意味は分かりにくい。したがって、学習者に「KES-ITA」の用法の理解度を高めるためには、先行文(脈)と後続文との連文関係が分かるような談話文を提示し、先行文の内容を具体化して述べる用

15 李昌烈(2007)著『ハングル能力試験3級 合格をめざして』ではハングル能力試験3級の問題集に「KES-ITA」を紹介しているが、「～のだ(強い断定)」と書いてある程度であり、詳細な用法の説明は与えられていない。

法、話し手から聞き手への事情・実情を説明する用法、独り言または心内発話で、発話の場で決めた話し手自身の決意を表す用法を実例と共に段階的に教授していくことが望ましい。

7. おわりに

本研究では韓国語の文末形式「KES-ITA」の用法について、韓国ドラマのシナリオデータに基づいて用例の分析を行った。その結果、「KES-ITA」は (I) 「KES」+「ITA」として分離可能な場合と、(II) 分離不可能な場合があることが分かった。さらに、(II) に関しては文脈によって (i) 先行文脈の内容の具体化、(ii) 話し手が、聞き手の知らない事柄・事情を説明する用法、(iii) 話し手が発話の場で決めた決意を表す用法があることが明らかとなった。

また、本研究では、韓国語上級学習者向けの文法書・教科書に「KES-ITA」を学習項目として位置づけることを主張し、「KES-ITA」は先行文と後続文との連文関係によって、様々な文脈の意味を呈するため、教育現場において、従来の説明のように「断定」「強調」という説明の仕方を避けて、多量の用例とともに文脈状況を十分に周知させながら、指導していく必要があることを提案した。

今回の調査では会話文が中心となるドラマの用例を扱ったが、「KES」系の変異形はほとんど現れず、「거야 (ke-ya)」「거예요 (ke-yey-yo)」のような「KE」系の変異形の出現頻度の方が非常に高いことが分かった。一方でテレビニュース、新聞の社説のような書き言葉においてはこれらの変異形の出現数はむしろ低いことが指摘されている（金 印刷中）。今後、このようなジャンル別に現れる「KES-ITA」の変異形の使用状況、生起頻度といった点も含めて、精密な調査を行っていき、その研究成果を韓国語教育分野に還元できるようなものにする予定である。

参考文献

(1) 日本語と英語の文献

- 金廷珉 (印刷中) 「コーパステータに基づく韓国語の『KES-ITA』の用法」『言語・脳・認知科学と外国語習得』, 東北大学言語認知総合科学研究 COE 論文集刊行委員会(編), ひつじ書房.
- 金廷珉 (2007) 「日本語の『のだ』と韓国語の『KES-ITA』の意味に関する対照研究」『東北大学高等教育開発推進センター紀要』, 第2号. 東北大学高等教育開発推進センター, 123-133.
- Kim, Joungmin and Horie Kaoru. 2009. Intersubjectification and Textual Functions of Japanese Noda and Korean Kes-ita. In: Takubo, Yukinori et al. (eds.) Japanese/Korean Linguistics 16. Stanford: CSLI.
- 宋承姫 (2000) 「日本語の『もの(だ)』『こと(だ)』『の(だ)』と韓国語の『것(이다) / geos (ida)』に関する対照研究—「文文化」の観点から—」広島大学大学院学位論文.
- 丁仁京 (2007) 「韓国語の『것이다』に由来する諸形式の意味と機能の分析」第218回朝鮮語研究会(口頭発表)ハンドアウト.
- 野田春美 (1997) 『「(の)だ」の機能』日本語研究叢書9. くろしお出版.
- 野間秀樹 (1990) 「<할 것이다>の研究—現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐる—」『朝鮮学報』第134輯, 朝鮮学会, 1-64.
- 益岡隆志 (2007) 『日本語モダリティ探究』くろしお出版.
- 李南姫 (2001) 「現代日本語の「のだ」文の総合的研究」大東文化大学大学院博士論文.
- 印省熙 (2003) 「日本語の『のだ』と韓国語『-ㄴ 것이다』の対照研究」お茶の水女子大学大学院博士論文.

(2) 韓国語の文献

- 高永根 (1986) 「紋法과 様態의 相關關係」『國語學新研究』塔出版社, 383-399.
- 국립국어연구원 (2005) 『외국인을 위한 한국어 문법2』커뮤니케이션북스.
- 김규철 (1988) 「모습의 ‘겠’ 과 바탕의 ‘-을 것’」『冠嶽語文研究』13 서울대학교 국어국문학과, 1-23.
- 남기심·고영근 (2002) 『표준국어문법론』塔出版社.
- 노마 히데키 (2002) 『한국어 어휘와 문법의 상관구조』대학사.
- 배선경 (1998) 「의존명사「것」구문에 대한 연구」釜山大学大学院修士論文.
- 서정수 (1978) 「‘르것’에 대하여 - 겐 과의 대비를 중심으로 -」『國語學』Vol.6 國語学会, 85-110.
- 신선경 (1993) 「『것이다』構文에 관하여」『國語學』Vol.23, 國語学会, 119-158.
- 안주호 (1997) 『한국어 명사와 문법화 현상 연구』한국문화사.
- 이기중 (2001) 『우리말의 인지론적 분석』도서출판 역락.
- 李南淳 (1981) 「‘겠’ 과 ‘르것’」『冠嶽語文研究』6 서울대학교 국어국문학과, 183-203.

장경희 (1985) 『현대국어의 양태 범주 연구』 탑출판사.

정희정 (2000) 『한국어 명사 연구』 한국문화사.

韓国語の教材・問題集

金順玉・阪堂千津子 (2009) 『新チャレンジ韓国語』 白水社.

金順玉・阪堂千津子 (2007) 『もっとチャレンジ!韓国語』 白水社.

李志瑛・金鎮姬 (2006) 『楽しくできる韓国語初級Ⅱ』 DEKIRU 出版.

李昌烈 (2007) 『ハングル能力試験3級 合格をめざして』 白帝社.

李昌圭 (2008) 『文型中心CD付きテキスト韓国語上級』 白帝社.

ハングル能力検定試験1級問題 (2008年度秋季第31回)

ハングル能力検定試験準2級問題 (2006年度秋季第27回)